

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	67 -	事業名	消防隊員育成事業	担当部課	消防署 1課・2課・3課
------	------	-----	----------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	10	住民を守る消防・救急サービスを充実する			
		施策の進め方	1	消防体制の強化			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 職員の特別教育の参加及び市民参加型訓練を開催する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 消防職員及び市内在住者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 災害時の被害軽減を目的に、職員が専門的な知識を修得するとともに、訓練等を通じ市民らとの連携を図る。					
	事業を構成する事務事業	① 消防隊員育成事業	継続	④			
	② 消防訓練事業	継続	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円		予算 決算			
人件費(B)	千円		決算				17,186
総コスト(A)+(B)	千円		決算				17,591

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A 各種特別教育の受講	%		目標	40	40	35	35	
				実績	45	41	34	37	
	B 出火率(人口1.0万人あたり)	件		目標	3.5	3.5	3.5	3.2	
				実績	2.6	2.9	3.2	2.0	
C			目標 実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 各年度出勤要員が必須教育を全て習得した場合を100%としたときの習得率を指標とした。26年度以降、有習得者の退職者により習得率が低下したため、習得率35%の目標とした。

B 人口1.0万人あたりの出火率を指標とした。前年度までの3年間で最も多かった26年度の3.2件を下回ることを基準とした。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 都市化がすすむなか、多様化する消防ニーズに対応するため、資機材の整備や都市型消防戦術を取り入れる等、知識・技術の習得が不可欠である。 本市内においては、近年大規模な住宅地開発や大型店舗のオープンが予定されていることから、市民が参加できる消防訓練を計画・実施する必要がある。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 特別教育は年間15人が受講したことにより、職員の受講者割合が前年度より3%の増加となった。また、市民らとの合同訓練を通じ、防火意識の高揚が図られ人口1万人あたりの出火件数は前年度より1.2件下回った。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 資器材の導入や更新等で充実させていくなか、使用する職員らの技術向上を目的とした訓練を継続していく必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 消防隊員の知識・技術向上のため、引き続き訓練・教養を重ね、機器装備の整備を推進する。また、地域ぐるみの訓練をはじめ、消防出初式等の行事も市民参加を促し、更なる防火啓発を行っていく。
--------	--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業名	消防隊員育成事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	消防隊員育成事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 消防隊員が災害対応に必要な知識・技術を習得するため、各種特別教育や救助隊員シンポジウムに出席する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 日常業務で培うことが困難な知識や技術を習得する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				527
		決算				405

3. 活動推移

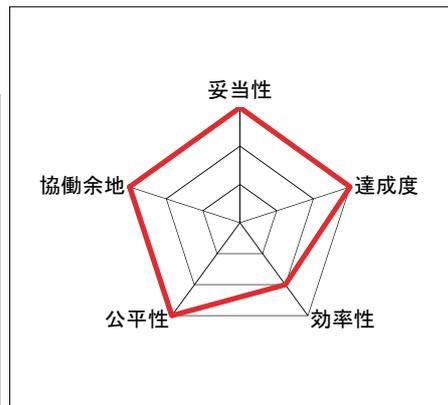
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
特別教育等の受講者数	延べ人数	目標	5	5	11	14	
		実績	9	8	16	19	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 都市化が進むなか、災害や事故の多様化及び大規模化により住民が求めるニーズも多様化している。
---

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続
----

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 多様化するニーズに対応するため、高度な訓練や教養を重ね、また、他の消防本部との合同訓練へ積極的に参加し最新消防戦術の習得を図る。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	消防隊員育成事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	消防訓練事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 地域自治会や事業所と消防訓練を行い、通報・避難時の正しい対応や初期消火を学んでもらう。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 生命、身体及び財産への被害を軽減する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				0
		決算				0

3. 活動推移

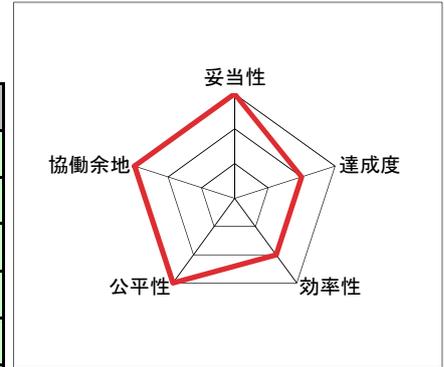
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市民・事業所との消防訓練等	回	目標	5	4	4	5	
		実績	5	4	4	5	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 本市内においては、近年大規模な住宅地や大型店舗の建設が計画されていることから、住民や関係者との密な連携が求められる。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続
----

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 職員による訓練のみならず、事業所関係者及び市民参加型の訓練や行事を開催し、防火意識を高めることが被害の軽減に繋がるものである。今後も、市民・事業所等と連携することで、防火・防災意識の向上を図る。
---